

2022年1月理事会議事録

日 時：2022年1月22日（土）14：00～16：00

場 所：オンライン会議

出席：辻 秀人・佐古和枝・佐藤宏之・足立佳代・植田 真・大塚昌彦・岡林孝作・河村好光・小菅将夫・惟村忠志・谷口 榮・寺崎秀一郎・中嶋郁夫・萩野谷 悟・馬淵和雄・溝口孝司・宮里 修・高麗 正、監事：都築恵美子・橋本裕行、（事務局：林 純子）

欠席：白杵 勲・亀田直美・滝沢 誠・田尻義了・時枝 務・中山誠二

進行：萩野谷 悟

議長：辻 秀人

萩野谷理事から、本日の出席者は20名（うち理事18名）で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

中嶋理事から、東京都の田所 真会員が2021年3月13日、広島県の竹広文明会員が8月1日、香川県の松本敏三会員が11月18日、埼玉県の石岡憲雄会員が2022年1月2日、山形県の長澤正機会員が1月7日、山形県の菅井 進会員が1月13日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

議案第660号 退会会員の承認について

中嶋理事から、福島県の*会員、群馬県の*会員、埼玉県の*会員・*会員、京都府の*会員、島根県の*会員、福岡県の*会員から2021年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

議案第661号 2022年度新入賛助会員の承認について

中嶋理事から、2022年度新入賛助会員の申込みは、フレンドシップ会員1名、学生会員3名の申込総数4名であり、2021年12月11日（土）に開催された入会資格審査委員会では申込者について特段の意見はでなかったとの説明があった。これを受けて審議の結果、全申込者について入会資格が承認され、総会に諮ることとした。

議案第662号 第88回（2022年度）総会議題案の承認について

河村理事から、第88回（2022年度）総会議題案の審議事項及び報告事項の提示があり、賛助会員学習会の日程変更に伴う修正等の付帯意見をつけて、承認された。

議案第663号 高輪築堤跡シンポジウム（仮称）の計画について

馬淵理事から、埋蔵文化財保護対策委員会では、高輪築堤跡の重要性を広く周知するとともに、再開発予定地内で今後も確認されることが予想される高輪築堤跡及び鉄道遺跡の保存と活用を市民と共に考えることを目的として、「シンポジウム・高輪築堤を考える（仮

称)」を、2022年4月にオンラインで開催することを計画しており、登壇者やプログラム等の実施概要の説明があった。審議の結果、原案通り承認された。

報告第860号(2) 2022年度日本考古学協会名誉会員の推薦について

佐古副会長から、1月15日(土)に名誉会員選考委員会を開催し、名誉会員の選定方法を見直したことを受けてその運用について検討する必要があることから、2022年度の名誉会員の推薦は行わないこととしたとの報告があり、了承された。

報告第861号 規定集作成計画について

佐藤副会長から、2021年度版会員名簿に掲載する規定集について、ワーキンググループを開催し、掲載内容について協議したことが報告された。2021年度版会員名簿の規定集は、①前回の2015年度版会員名簿に掲載している項目は、前回の刊行後に改定された内容を反映した最新版をすべて同様に掲載する、②「著作権規定」等の2015年度版会員名簿刊行後に制定・施行された重要なもの4件を加える、③「事務処理規定」別表3の理事会構成を現状に沿った形に差し替え、今後改めて時間をかけて、別表2や本文との齟齬の解消及び実際の運用時の対応について検討することとしたいとの説明があり、了承された。

報告第862号 2022年度予算策定に関わる予算要求について

萩野谷理事から、各委員会から提出された2022年度予算要求書をまとめた各事業及び委員会の2022年度予算要求一覧が提示され、2022年度収入見込み額に対し予算要求合計額が上回っているが、今年度からの繰越収支差額で充足見込みであるとの説明があり、各事業・委員会担当理事に増額理由の説明が求められた。今後は、各事業の増額理由を踏まえつつ、委員会開催時のオンライン併用の均一化の検討等の調整を財務会議で行い、3月の理事会に予算案を提出するとの説明があり、了承された。

報告第863号 会費高額滞納者への催促分担について

萩野谷理事から、現段階で3万円の高額滞納者60名の報告があり、各理事が分担して督促に当たることとなった。

報告第864号 2022年度新入会員・第2回資格審査の報告について

中嶋理事から、1月15日(土)に、委員長・副委員長及び担当理事による第2回入会資格審査委員会を開催し、①第1回入会資格審査の保留4名の再審査を行ったところ、うち2名は申込を辞退し、1名は資格基準を満たさないと判断され、1名が資格基準を満たすと判断された。よって、2022年度新入会員の入会資格審査は、申込総数43名、うち辞退者2名、資格基準を満たさなかった者1名で、資格基準該当者は40名となり、3月上旬に全正会員に該当者の名簿を送付する。②一部の委員から入会資格基準について問題提起があり、委員会で検討しているとの報告があり、了承された。なお、学生会員だった者の正会員への申込に際しての優遇措置についても併せて検討が求められた。

報告第865号 第88回(2022年度)総会の概要について

寺崎理事から、第88回（2022年度）総会の概要について、①新型コロナウイルス感染症の流行状況が不明なことから、第1日目は早稲田大学早稲田キャンパスで総会・公開講演会を会場参加可及びオンライン配信（視聴のみ）で行い、第2日目は戸山キャンパスで研究発表会を関係者以外は会場参加不可としオンライン配信で行う。②研究発表会は、口頭発表10件1会場、セッション8件4会場、ポスターセッション26件、高校生ポスターセッション11件であり、今年はポスターセッション・高校生ポスターセッションもオンライン上でコアタイムを設けて質疑応答を実施する予定である。③今後のコロナの感染拡大状況によっては開催方法の変更もあり得るとの説明があり、了承された。

報告第866号 各委員会等における2021年度会議等報告について（その6）

1 広報委員会の報告

足立理事から、①『会報』No.205は3月1日刊行予定で入稿を進めていること、②リレー・コラム「コロナ禍の考古学」は順調に掲載を続けていること、③「カフェde考古学」のポスター及びチラシを作成・配布し、併せてホームページに掲載して、現在第1回の申込をホームページから受け付けているとの説明があり、各理事に「カフェde考古学」のチラシ配布等の周知活動について協力が求められた。

2 埋蔵文化財保護対策委員会幹事の報告

馬淵理事から、協会が求めている高輪築堤跡の一般公開について、発掘現場見学会が2月20日（日）に人数を限定して行われることとなり、申込み方法等が案内された。

3 災害対応委員会の報告

宮里理事から、1月18日（火）に委員会をオンラインで開催し、①2021年12月3日（金）開催の文化遺産防災ネットワーク推進会議に菊地芳朗委員と田尻義了委員が、また12月8日（水）開催の文化財防災センター事業報告会に菊地委員が参加し、それぞれの会議内容について報告があり、情報を共有した。②委員会の体制について、全国を網羅する委員構成とする方針で継続性を鑑みた委員の交代を検討中であるとの報告があり、了承された。

その他

1 高輪築堤に関するイコモス・ヘリテージ・アラートについて

日本イコモス国内委員会の理事でもある溝口理事から、高輪築堤に関わるヘリテージ・アラートの発出について、イコモス本部と協議を進め、近々に発出予定であるとの説明があった。開発プロジェクト5・6街区の保存に向けて、日本イコモス国内委員会と、当会会長・副会長及び埋蔵文化財保護対策委員会や広報委員会との連携を協議することが確認された。

以上